

大 豊 町 の 概 要		
位 置	東経133度37分	北緯33度56分
面 積	320.54平方杆	東西 32杆
	南北 28杆	部落数 86
人 口	10,946 男 5,273 女 5,673	
世帯数	3,604(8月末日現在住民基本台帳調)	

豐大 館報

昭和52年10月20日発行

全世帶配布

編 集 館報大豊編集委員会

發行 大豐町中央公民館

印刷 高知印刷株式会社

どうする心の町づくり

関係団体も参加して

住民自治をテーマに区長会

門田町長は八月三十一日町内八十六部落の区長会を招集した。午前中に各課の事務連絡を終り午後は社会教育のベースで、今までの区長会とはおもむきの違った会の運営内容で討議を深めた。

民具収集と新生活運動

お返し廃止”は前向きで

この会は、地方自治法施行三十周年を迎え、社会構造の急激に変化するなかで、これからの「ふるさと」のまちづくりを」というように進めるかについて区長、行政担当若、青年団、婦人会（生活学校を含む）明るい選挙推協の代表者らが一堂に会し、討議を深めながら、その方向をさぐるというのがねらいで、会の名称も「住民自治による町づくりを考える会」とした。「地域連帯の意識づくりをしよう」「自治意識を高めてよう」「町民の健康管理を考えよう」「生産と消費

くりに構想に基づく民具一点収集運動。新生活運動の展開、献血、各種検診の受診率、選挙の投票率などすべてにわたって、他町村よりも大豊が低調なのはなぜかなどにつき、それぞれの立場から内容を深めた。過去における経済の高成長が、日本人の心を蝕み、自主性と主体性に基づき、行政組織のたて割

すなで地域社会、生活共同体を育ててきたが、これが次第に崩壊し家庭生活が孤立化し、

人間同志が健康で豊かに結び合い、柔軟で寛容な精

りや過疎など数多くの要因が重なって、部落自治本来の姿が見失われ閉鎖的で行政任せ、他人まかせの風潮が高まってきたと云われている。

お返し廃止は前向きで

民具収集と新生活運動

模範として知事表彰

敬老の日に
朝倉寛一さん



老人福祉週間恒例の模範老人、模範嫁の表彰式が九月十五日（敬老の日）に県庁正庁ホールで行われ、大町市豊町では模範老人として、怒田の朝倉寛一さんが、中内知事から表彰されまし
た。

功績調書の主な内容を見ると、昭和7年4月～9年3月旧東豊永村役場書記、昭和13年6月～20年6月有給助役、昭和20年3月名誉助役、第一助役、昭和30年3月同村議会議員、昭和25年4月～30年3月同村監査委員、昭和34年3月合併大豊村議会議員、昭和34年5月～44年6月大

以来四十四年までの三十七年間は地方自治発展のために尽くされました。

ご家族は現在、貞子夫人（66）、長男栄一さん（45）、嫁の睦子さん（40）、孫真二君（16）武君（12）の五人で朝倉さんの良き理解者として協力しており、円満で模範的な家庭。



北岸に向って一斉放水

船戸、川戸が優勝

嶺北大会では惜敗



東部分団の婦人消防隊員も参加整列した

恒例の大豊町夏季消防演習は、八月十二日（日）大田口小学校前の吉野川河原で行われ、西岡丈団長以下二百三十余名の団員が参加して行われ、A組大田口分団船戸部、B組豊永分団川戸部がそれぞれ優勝した。昼食のにぎり飯は例によって船戸婦人会（小笠原良恵

夏季消防演習大会

神と、豊かな個性を発揮しながら楽しみ合える社会、弱者を捨てない地域づくりを目標として「生活見直し運動」を軸として、みんなて話し合い、美しい伝統を生かした新しい時代の新しい部落自治による大豊の町づくりを治えてみたかどうか……こんな願いをこめて真剣に討論した。

連合婦人会の方からは、
 ①として二回目を終えた町内十二地区での共励会の内容が発表され、冠婚葬祭の簡素化運動、とりわけ盛大ではなくなった婚礼のお返しや病氣見舞のお返しなどの廃止が町内全域で問題となるのに実現までにはほど速い。男性側の協力を得るためには、やはり部落自治の責任者である区長さんのリーダーシップに期待したい。

また生活学校で調査した
 ゴミ処理の実態（袋への氏名記入等）を数字をあげて示し、使える物を「ゴミ」として捨てないよう「ゴミは資源」の考え方に徹して、町民こそでこれに取り組み、ゴミ処理に要する町の予算を節約すべきで、これらのことを住民に徹底するのもやはり区長さんにおすがりしたいとのべれば区長の方からも、今までの区長会にはみられない程意見続出。

②区長は部落民の小使い役でそんなに偉くない。
 ③今頃お返しの廃止とはひだけた話し、天坪地区ではやめて久しい。
 ④婦人会の努力に敬意を表したい、部落へ帰って周知徹底をする。
 ⑤自分の力に合ったお返しはあっても良いのではないか。

などなど賛否両論あった。

で、どちらの意見にも会場われんばかりの拍手がおくれ、終止なごやかなうちに住民自治の町づくり討論は熱気あふれるものとなった。

司会は、社会教育担当の若い主事二人で、せまる時間を気にしながらそろそろまとめに入る。

① 民具一万点収集は、町民挙げて奉仕活動として行う。
 ② お返しの廃止は、部落に持ち帰り、前向きの姿勢で進める。
 ③ ゴミ問題についても住民に徹底し不法投棄などしないように話し合う。
 ④ 明るい選挙の啓発活動、各種検診の受診率の向上、献血助け合い等について住民自治の「ぐるみ活動」の方向をめざすなど、部落自治の責任者であり、町行政の補佐機関であり、民具収集状況も好調、お返し物の廃止を決めた部落も西庵谷をはじめあちこちの部落で聞かれる。町全体としてまとまるのも、あまり遠いことではあるまい（隣接の町村では早くから実施している）。新生活運動で九月の神祭を廃止することの少ない。集まることの少ない昨今、部落自治公民館に集まってる親親会よし、神祭に集まることもよし、問題はこうした行事の中味の検討であるなどが、付随して話し合わされた。

この会の成果は、区長の努力で早くもあがりつつあり、民具収集状況も好調、お返し物の廃止を決めた部落も西庵谷をはじめあちこちの部落で聞かれる。町全体としてまとまるのも、あまり遠いことではあるまい（隣接の町村では早くから実施している）。新生活運動で九月の神祭を廃止することの少ない。集まることの少ない昨今、部落自治公民館に集まってる親親会よし、神祭に集まることもよし、問題はこうした行事の中味の検討であるなどが、付随して話し合わされた。

会長が丹精こめて作った。この演習は団員の夏季における基礎体力の強化を図り、臨戦体制における迅速機敏なる活動を演習するたために実施するもので、東部分団の婦人消防隊員二十二名も参加した。

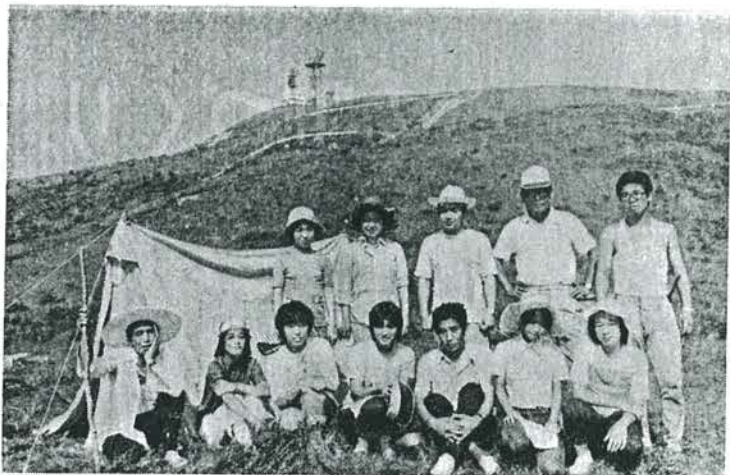
人員点呼、門田町長訓示、優勝旗返還（A組大杉分団、B組豊永分団川戸部）審判長注意など一連の開会行事を終えて、坂おくり競技による試合を開始、次の成績をおさめた。

A組（四〇馬力以上）
優勝 大田口分団船戸部
二位 大田口分団大田口部
三位 大杉分団杉部

B組（三一馬力〜四〇馬力まで）その他
優勝 豊永分団川戸部
二位 落合分団西峰部
三位 豊永分団豊永部

この成績結果に基づき、九月四日に行われた嶺北消防演習にA組船戸、B組川戸、西峰、豊永がそれぞれ出場争戦したが惜敗した。

在学青年の社会体育



すべて山頂には憩いがある

八月二日午後一時、豊永のこのキャンプへの参加動機は一度しか登ったことのない梶ヶ森に、多くの仲間と一緒に自分の足でもう一度登りたいという願いからでした。

私は、少数の仲間ではたして楽しいものになるだろうか、主体となる高校生よいうか、楽しいはずがないかと不安でした。出発直

後の私達はまだどことなくしげみうもれでしたが、山道をはなの少し登りはじめた頃には引率して下さった大人の気さくで温かい態度になじむことができて、大人と学生という壁のようなものが消えてしまふの仲間意識が高まり、話のまじかに皆で笑い、話のし、励ましながらの登山へと変化してゆきました。

若さの発散で充実感
高校生活最後の思い出

東寺内 鎌倉真理子

参加が実現出来たら、もっと活発な大会になるだろうし、競技内容も多くすることが出るに違いない。そうするためには、前もって地区ごとの代表者でも決めて横の連絡をとりながら出場を呼びかけるなどすれば、全員参加も夢ではなく前記目的が達成できると思う。

この大会で、僕はふだん

こそ首にメダルをつるせる
と確信している。(高知工
業高校二年)

.....
飲酒運転を追放
しましよう
秋祭り
役場職員も相互間の交際
はつとめて自粛することを
決めました。

飲酒運転を追放

祭り

文化の秋

第5回 大豊町民文化祭 (県芸術祭参加)

と き ・ 11月20日（日曜日）第5回大豊町婦人大会
（8時30分～16時まで）

ところ・大豊町農工センター・中央公民館及びその周辺

内 容 ・ 発表部門＝音楽（大正琴、三味線、のど自慢を含む）
民謡、日本舞踊、剣舞、郷土芸能・謡曲・詩吟・茶席
・その他
・展示部門＝盆栽・生花・花卉・日本画・洋画・書道
・農林商工部門・写真・民芸・学校巡回展・8ミリ・
俳句・切手・アマチュア無線・手芸その他
・農林商工部門
・各種商品展示及び即売コーナー
・入場無料

人間愛と連帯感

山の自然に教えられた

上東寺石洋子

「スポーとは何ぞや」そんな言葉を自分に問い返してみた。スポーツって、労働ではなくて無心に体を動かすもの、「丁度本を読んだ後のような満足感が胸をいっぱい埋め、そして同時に人と人との間に『愛』をつくってくれる。体とい

つしよに心の運動をさせるものではないだろうか。常なら、だいたりとただいたずらに四十八時間を終らせるはずの二日間を、梶ヶ森キャンプは何と分厚いものにしてくれたとか。

私はいま、あの時のことを思い出しながら、あらため

て山に教えられたことを感謝している。ほんとに楽しかった。面白いことばかりいう先輩が、ユーモラスな友のようであんなのせいか急な山道を登りながら、前から順に皆に命綱でも張られていような感じがした。

あの薄暗くなった山を降

れない。体の中の水分が無くなるほど汗をかいてくたくなつて得た龍王の竜の冷たい水。皆で一連になつて一歩一歩山を登る。皆で分けて上つて頂上に達し、皆で分けて合つて作つた夕飯の何とおいしかったことか。

「苦しかったけど、ご飯のた。あんなに素直な感情を与えてくれたのは、山の言葉だと私は思う。一歩一歩足を進めるたびに、呼吸をしているのを言葉だったのは、あれは無言の言葉だったんだらう。言葉というものは、然に歩ませたいと思う。」

おいしいといふ、水の冷たいといふ、日の出の美しいといふ、そして、人の親切の有難いという気持ちへの何の抵抗もなく溶け込むようになつて偉大なのは自然である。こんなと頭に浮かぶのが「切破家塾」という言葉だ。何だかスポーツが引っかかる。『小津安二郎(三年)』



努力して止まない者こそ救われる
(楽しい食事風景)

夏のそれも日盛りに登るので、汗はとどめなく流れるし、大変ではあるが、なんとなく自分は、うじうじしないで発散しているんだなと思ひ充実感を覚えました。やがて初めて見る力強さと厳しさをたどらせた龍王の流にたどりつきました。まるでここには夏の訪れはないかのようになややかで閑寂としていました。息をつく間もなく流れ落ちる豊富な水、いったいどこからこんなに……と自然というものは偉大で魔力でも秘めていそうな気がしました。

この流に元気づけられた私達は、一気にキャンプ場へと登り、夕方には全員笑顔の登頂でした。すぐ夕食の準備やテント張りの仕事を皆で進め、八時頃にはわざわざ車で登って来て下さった教育長さんを迎えて総員十三名は、食事、レクリエーションと楽しいひとときを過ごしたのです。

私は頂上へ着いて驚きました。食糧、毛布、テント、歌集、食器その他色々で、達達の為に全部が用意されていたのです。それだけではなく本当に私達に良くして下さったのです。同行されたよき先輩との対話は普段の味わうことの少ない別のもれあいの場となったことと、一つの大きな価値がありました。参加者が少なかったことは残念だったけど、一日間の記録写真を受け取り、一枚一枚なつかしく眺めながら、このキャンプを計画し、実行して下さった方々に心から「ありがとうございました」と言いました。高校生活最後の夏の体験は私にとって生涯の想い出となることでしよう。

(小津高校三年)

読書週間は十月二十七日から十一月九日までの二週間、読書推進協議会の主催で昭和二十二年から行われ

てゐる行事です。

「燈火親しむの候」とか
「読書の秋」とかの言葉も
しょう。

秋の書讀

良書を読みましょう

27日から読書週間

ありますが、良書の普及と書物を作る人びとへの感謝なども目的のうち。

読書は自らの生活を充実し、人間形成を助成するために必要です。このためには、いわゆる不良図書は社会全体の力で追放し、知識の吸収力の最も旺盛な幼児期、児童期、青少年期において、正しい本を年々、おにわたる望ましい読書の習慣、態度、技術を習得させるよう指導することが大切です。

上の明るさが必要で、これは二〇ワットけい光灯の真下の明るさとか。周囲も半分のくらい明るくないと目がつかれないといわれます。夜が長くなった昨今、照明のごやっかいになる時間が多くなりました。月に一回位は電球を外して乾いた布で汚れを取り、器具の反射面もきれいにふきとって、夜長の読書を楽しみましょう。



何ごともし生懸命

今後は回数と種目を多く

上桃原 上村 章仁

友達に誘われて、『在学青年スポーツ大会』に出てみる気になった。知らないうちにキャプテンになっていた。一回の練習もしてないが、とにかく大豊中へ行ってみた。午後からの試合というのに朝早くから来て練習しており僕のチームも五人ほど来ていた。

開会式に参加した高校生を見て、ずい分多くいるなと思った。バレーボール、卓球、バスケットボールの三種目に分かれ、バレーボール(十二チーム)は二会場で行くこととなり、僕は太田川小学校へ移動した。一回戦は強そうな相手だ、前半は少し押され気味だったが、後半漸くもり返して勝つことが出来た。お互いに応援したりせられたり、相手のチームと話したりみんなが一生懸命に取り組んでいた。

僕は押せ押せムードで勝ち進み、Bコートの決勝戦にもやっと勝つことが出来た。僕はここまできたのだから、あとはやるしかないと思いつながら大豊中で優勝決定戦にのぞんだ。

Aコートも決勝を終った間待ちに練習していた。いよいよ優勝を賭けた試合が行われようとしていて、見物者は大勢集まりとてもやりにくかった。決勝戦にふさわしい試合が行われるよ

はスツッキリする。

僕は表彰のとき始めて優勝したんだなあという実感がわいた。なにぐとも一生懸命やらなくてはいけないと思う。スポーツをやることによって、知らない人とも自然に仲良くなるし、この大会に参加して本当によかったと思っている。

今後は、もう少し回数や種目も多くしてほしい。高校生活最後のとてもよい思い出になった。(高知農業高校三年)

有意義

大豊に

有意義な一日に感謝
大豊にすることが幸せ

高須島井実千代



メダルを首にうれしそう（一位代表）

先輩後輩の

関係を豊かに

なにごとにもふだんの努力が大切

黑石西内雅浩

中学生気分が残っている僕達にとつて、先輩達と共に楽しい一日を過ごす機会をつくってくれたことは大変嬉しかった。例年ない暑さや忙しさの中でこの大会を企画していただき、色々と僕達をご指導下さった関係者の方々のご苦労に感謝します。

僕はバレーで残念ながらら負けてしまいましたけれど、友人の良さやチームワークのすばらしさ、プレールのむずかしさなど、学校では得難いものを学びとることができました。なにもスポーツに限ったことではな

く何ごとでも、例えば勉強にしてもふだんの努力なくして成果は得られない。自分の持っている可能性を引き出すためにはやはりみんなの努力の積み重ねが大切であるということをつくづく教えられました。来年からは同学年同志の比較的多かったことしよりも、先輩と後輩の関係を豊かに深める工夫をしてみてはどうだろうかと考えている。こんな催しは県下でも大豊だけに思われるが大変御世話になりました。ありがとうございました。（東高橋一年）

参加してよかった

来年はもっと多くの人を

大砂子
中西佐代

いよいよ試合開始、みんな緊張して堅くなる。一セット目をとれた、相手も緊張しているに違いない。二セット目をとったがミスが多く緊張はなかなかほぐれない。然し、やるだけのことはやろうと自分に気合を入れてやっていた時間が経つてきたのか三セットをとった。	わあ、今年も来た。待ちに待ったこの大会、学校の先生からもう「なかなか熱心なこころいことをやってくれて、あんたら幸せやね」と云われ、益々この大豊が私の心をひきつけるものとなった。
優勝が決まって試合が終わると急に休む力が抜け切ったみたいに感じた。力いっぱいやった後、こんな幸せな思いを植えて	七月十七日の朝、遠足を待ちかねた子供のように早く目がさめるなど、本当に楽しい年に一度のこの行事、中でも試合までの間にチームに關係なくみんなが一つのコートでひたひたに汗をうかべ、笑いながら、ふざけ合いながらする練習は男子も女子もよくこんでいて実に楽しいものである。
優勝が決まると急に休む力が抜け切ったみたいに感じた。力いっぱいやった後、こんな幸せな思いを植えて	ふだんの学校生活、又、通学列車の中で、いつも高校生活が送れるのになと思った。試合の勝ち負けはどうあれ、その日一日をこんなにも有意義に過ごせたことは本当に幸甚な事であり、これから先、五年後、十年後のその日には、

つけてくれた大豊町を自慢出来る人間になって、ひょっとすると、大豊町在学青年として、まだ大豊の山々

に聞かれて忙がしさに追わ
れているかも知れませ
ね。この大会を企画して下
さった方々本当に有難う

参加してよかった 来年はもっと多く

大砂子 中西

目頃、体を動かすことの
少ない私達にとって、この
スポーツ大会は唯一の楽し
みになった感じでした。
昨年、この大会に参加し
て大豊町にはこんなに沢山の
高校生がいるのかと驚いた
ものでした。今年の大会に
も沢山の人が集まってい
ました。そして、バレーボ
ール、バスケットボール、
卓球と楽しみながら汗を流
している姿がとても印象的
でした。
開会式は、お昼からとい
うのに大半の人が午前中に
来て思い思いの練習をした
が、久しぶりに逢った友達
と話をしたり、みんな楽し
そうでした。そういう私も
この大会があると聞いてか
らは、大好きなバレーがで
きると思っていて、いろん
な友達に頼んでチームになっ
ていました。市内に下宿し
ている友達も参加したいと
云ってクラブ活動を休んで
きた人もいました。みんな
私以上に大会を楽しみにし
ていたのだと思います。
競技が始まって、緊張
した感じもなく、笑いの交
った楽しいムードで試合が
行われ、真剣な態度でチー
ム全体が力を合せているの
が感じられました。ときに

通商産業省の消費者向けテレビ番組
「ご存じですか奥さま」が今年も昭和52
年10月～12月まで13回にわたり毎週土曜
日、全国33局で放映されます。
四国における放送時間等は下記のとおり
です。

(記)

放送局名	所在地	放送時間
南海放送(RNB)	松山(土)	11:15~11:30
四国放送(JRT)	徳島(土)	10:15~10:30
高知放送(RKC)	高知(土)	11:15~11:30
西日本放送(RNC)	高松(土)	7:00~7:15

第6回 大豊町民体育祭

と き 11月3日(木)文化の日 9時集合・9時30分開会
ところ 大豊中学校グラウンド

- ・ 3日が雨天の場合は11月6日(日)に行います。県民総スポーツ推進のとき町民こぞって体育祭に参加しましょう。
- ・ 大杉中学校プラスバンドの吹奏音楽に合わせて入場行進を行いますので早目にお出下さい。
- ・ 控席にはブラカードを立ててあります。
- ・ 会場周辺への車輛乗入れは、地元消防団、警察の指示に従ってください。駐車場は当日示してあります。
- ・ 控席にはイス等は出しませんので各自敷物をご持参下さい。
- ・ 食堂は連合青年団が開きます。
- ・ 高等家政学校がべんとう(チラシ寿司 250円)を販売します。(予約を受けつけますので学校まで御連絡下さい。)

第7回 嶺北総合美術展

出品部門	洋画・日本画・書道・彫塑・写真・工芸
作品の搬入	10月21日（月）大豊町中央公民館へご持参下さい。
会期	・ 10月30日～11月3日 本山町会場 ・ 11月6日～ 8日 本川村会場 ・ 11月11日～ 15日 大豊町中央公民館 ・ 11月18日～ 22日 土佐町会場 ・ 11月26日～ 29日 大川村会場
審査	10月25日 本山町中央公民館
表彰式	10月30日午後2時

体育の秋

芸
術
の
秋

(6)